

## Web きくみんリレートーク No6

介護支援専門員(ケアマネジャー)は介護保険法を根拠に介護を必要とする方が介護保険サービスを受けることができるように、ケアプランの作成やサービス事業者との調整をおこないます。

また、介護支援専門員の仕事内容は多岐にわたり、介護が必要な方に介護保険サービスを提供するほか、生活困窮者には生活保護申請の補助を、食事に困っている方には配食の紹介を、施設入所を検討している方には状況や環境にあった施設の情報提供をおこないます。



近年は家族という形も多様化し、それによって求められる支援のありかたも変わってきました。高齢化や核家族化で、家族だけで介護をおこなうことが難しくなり、多職種が連携しチームで支援をおこなうシステムづくりがすすんでいます。

多職種とは、医療の専門職(かかりつけ医・お薬をもらう薬剤師など)、介護の専門職(介護支援専門員・通所サービス・訪問サービスなど)の他、行政や地域住民、家族なども含まれます。

高齢者の在宅生活を支えていくために、医療と介護の連携は不可欠で、とくに医療での中心的な役割を担う医師と介護支援専門員との円滑な連絡体制は必要と思われませんが、訪問する時間によっては診察の邪魔をしてしまわないか？どのようなアポイントをとればいいのか？など色々と考え緊張してしまうものです。

しかし、医療と介護それぞれの専門職が同じ方向を向いた支援をおこなうために、信頼関係をつくり、必要な情報のやりとりをすることで、医療職・介護職がそれぞれの仕事で生かせる連携づくりが必要です。

現在、介護支援専門員協会菊池支部は約190名の会員が在籍しており、スキルアップを目指し、年数回の研修を開催しております。



ここ数年、研修のやり方も変わりほとんどがオンライン研修となりました。

コロナ禍以前は定期的におこなっていた対面研修を今後は取り入れながら、菊池圏域の色々な職種の方たちと顔の見える時間をつくっていかれたらと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

熊本県介護支援専門員協会菊池支部  
おおつかの郷 城洋子

次は菊池郡市歯科衛生士会 坂本様にリレーします。